



教育行政の窓口
教育委員会

一般質問 町政を問う



植松 米作 議員

町の将来ビジョンは

自立に向けて道筋をつける

質問 町政2期目にあたり、町の将来ビジョンは。

答弁 自分でできることは自らが、その取組みをしてゆくことが必要ではないかと考えています。

自立に向けて道筋を立てながら、更に業務の精査と充実を図ってまいります。特に水資源対策、防災の組織作り、開発公社及び土地開発公社の健全化などの取組みを進めます。
現在、来年の9月を目前に第3次総合計画の精査をし、第4次総合計画策定に向けて着手し始めています。

個性ある教育(人づくり)への取組みは

一貫した「子ども教育」ができる組織を考えたい

質問 町教育の将来像とその実現への施策は。

答弁 人づくりは町の活性化でもあります。次世代育成支援対策の推進には、これまで複数の課や係に分散していた行政の窓口の一本化を図りたいと考えています。

その構想は、子ども課(仮称)または児童課とし具体的には、出産前・誕生・乳幼児期から青年期までの子どもを一貫して継続的に面倒を見る機構改革を予定しています。

子どもを中心とした支援対策地域協議会の立ち上げなどには、行政主導ではなく、町中みなで子育てを、という町民の教育への関心や協力・支援がその鍵を握っていると思います。

また、「コミュニティ・プラザ」を主軸とした活動が活発に行われていきますが、住民の自発的な発案で事業を進めたいと考えています。

教育行政窓口として

会議録は議会ホームページ「ふじみ町議会会議録」でご覧いただけます。

内容を要約してお知らせします